

住み続けたい地域へ、仕事を語り、 求められるものを考えあおう



第562号

発行所
自治労連愛媛県本部
松山市三番町8丁目10-2
電話(089)931-7312
FAX(089)933-1699
jehime@sage.ocn.ne.jp
発行人 森賀 俊二
編集人 和氣 伸二
(組合員の振替情報は組合員の
のなかに含まれています)

日程

- 【11月】
 - 22 今治水道労組定期大会
 - 23 保育大集会
地域医療を守る運動全国
交流集会 (web併用)
県本部労安対策委員会
松山市職労定期大会
 - 27 宇和島市職学習会
- 【12月】
 - 2 県本部拡大執行委員会
自治労連国民春闘討論会
(京都・web併用)
 - 6 県公務員共闘会議定期総
会
 - 9 自治労連四国ブロック定期
総会・事前会議 (愛媛・
共済会館)
 - 10 自治労連四国ブロック共
済学校 (愛媛・県本部)
 - 14 宇和島市職連代表者会議
 - 16 青年部幹事会
自治労連組織集会
(愛知～17)
- 【1月】
 - 12 2024新春合同旗びらき
 - 13 県本部拡大執行委員会・
組織集会 (～14)

『地方自治研究愛媛県集会』を開催

11月12日、内子町小田で開催した「第64回地方自治研究愛媛県集会」に86人(自治労連17組織67人、研究者・他団体19人)が参加。◎人口減少・少子高齢化のもとで「安心して生活でき、住み続けたいと思える地域を」、◎自治体の役割・仕事を考えあひ「やりがいを感じて、働き続けたいと思える職場を」のテーマに学習・討論しました。



■午前《分科会》(写真左上から) ①地域づくり、②医療介護、③保育、④現業、⑤青年講座を開催。地域づくり分科会では、内子町地域づくり協力隊OBで移住し活動している納堂邦弘さん(米国生まれ大阪育ち)・岡山祐明さん(兵庫県出身)の体験談を聞いたあと、小田地区の商店街や道の駅せせらぎに足を運び、古民家活用(書店開設、シェアオフィス・ゲストハウスなど)、空き家管理、移住支援、産直販売などの状況を見学しました。『感想』(抜粋) ■

無味ものから作る、ネガティブなものを楽しむも

■午後《全体会》は林業センターで開催。『市町村合併から20年、地方創生から10年をふまえ、これからの「地域再生・自治体施策」を考える』と題し、て松山大学大学院(経済学研究科)の藤井孝哉さんが「基調講演」。講演では「地域政策の経過と転換」「農村と都



藤井孝哉さん

市関係性の変化」「地方移住と関係人口論」「地域おこし協力隊の制度解説」「国が推進するデジタル田園都市国家構想とは何か」などを紹介しつつ、◎内子町の地域おこし協力隊を素材として、移住者・地域住民・自治体職員による地域再生のとりくみ事例、◎西予市地域づくりセンターを素材に、自治体と住民の協働による地域再生・



小淵 港さん

福島理沙さん

井出アツサさん

高橋秀介さん

小規模多機能自治体を考える具体的事例を紹介し、◎地域再生を担う主体形成を公民協働でどうつくり、行政がどう支援するか《方向性と課題》が示されました。

■続いて「調査報告」で、小淵港さん(県自治体問題研究所理事長・愛媛大学名誉教授)が「地域の公共交通の危機と住民の足を守る自治体施策」について、県内市町アンケート調査や訪問ヒアリングから報告。最後に「事例報告」として、◎福島理沙さん



「エッセンシャルワーカーの処遇改善、町での課題等、要請主旨はわかる」

県本部町村職評議会は11月7日、県町村会長へ要求書を提出し要請を行いました。要請には2単組4人が参加、町村会長は河野町村会長(久万高原町長)ほか3人が対応しました。森賀県本部委員長から統一要求書について

て主旨説明を行い、各単組の重点課題についても要求しました。河野会長から、○賃上げは主旨を受け止め早ければ12月議会で条例改定したい。○どの町も人口減で町税も減り、交付税頼みの部分もある。最低限の人員は配置できているが、職員の残業適正化へチェックしたい。○男性も遠慮なく育休取れるようにしたい。病休の時間単位取得は検討したい。○会計年度職員の勤勉手当来年度支給へ12月議会、遅くとも3月議会に対応。4月週及は検討。○久万高原

町は面積が県内最大で人口が3番目に少ない。交付税額に面積も加味せよと県選出国会議員を通じて国に伝える。保育士処遇は同感。保育・医療・介護のエッセンシャルワーカーの給料は低く進言したい。要望に対し、河野会長から「再任用の格差があることは承知、特に医療での再任用は考えないといけない。町はどこも同じで若い人が辞める、病休取得のケースが出てくる。良い提言で真剣に考える必要があり、しっかりと対応したい」とコメントがありました。



【町村会長要請】

「60歳以後の処遇は引き上げ必要」「機会をとりだして声を届けたい」

県本部市職評議会は11月8日、県市長会長へ要求書を提出し要請を行いました。要請には、森賀県本部委員長と5市職単組6人が参加。市長会長から武智市長会長(伊予市長)など、伊予市から総務部長など5人が対応し

ました。冒頭、森賀県本部委員長から、県本部秋季統一要求書について、主旨説明とキヤラバンで明らかになった自治体間の格差などの説明後、意見交換を行いました。参加の伊予市職労、四国中央市職労、西条市職労、東温市職、西予市職労から、各単組の重点課題について要求しました。武智会長から、○全体の賃上げには、民間の低賃金を引き上げることが必要。○新規採用は、ゆとりをもった計画で行っている(伊予市では、技術職を職場で育てる方針で高卒

採用を始めた)。○伊予市での管理職の男女比率を本庁職場に限って調査し、女性30%を目標とした。長期的視点で改善していきたい。○60〜65歳までの賃金は、現水準からの引き上げが必要だと思っ



【市長会長要請】

て、各単組の重点課題について要求しました。武智会長から、○全体の賃上げには、民間の低賃金を引き上げることが必要。○新規採用は、ゆとりをもった計画で行っている(伊予市では、技術職を職場で育てる方針で高卒

採用を始めた)。○伊予市での管理職の男女比率を本庁職場に限って調査し、女性30%を目標とした。長期的視点で改善していきたい。○60〜65歳までの賃金は、現水準からの引き上げが必要だと思っ

て、各単組の重点課題について要求しました。また、市長会長に対する要求(交付税制度の見直し、保育士配置基準および処遇の改善)について「すでに全

国市長会で国に要請している。思うところは同じ。機会をとりだして声を届けたい」とのコメントがありました。



【西予】青年部「防災へつなげる学習会」 「事実知り学び、備え、命を守る」

西予市職労青年部は11月3日、平成30年7月豪雨災害から5年が経過し、職員として被災を経験していない青年部員も増えてきたことから、市内で災害の記録と記憶を後世に語り継いで風化させず防災や減災につなげる市民団体「語り部018のむら」による語り部案内を受講する学習会を

開催し9人が参加。西予市の乙亥会館内『災害伝承展示室』で当時の映像なども見学した後、また豪雨災害の傷跡が残る商店街や肱川沿いを歩き、発災当時から今日に至るまでを学習しました。豪雨災害を経験した職員から、非日常の当時の職員の勤務内容などを聞き、あらためて自治体職員の役割を考える機会となりました。交流会では、復旧・復興へのとりくみなどを語り合いました。



【松山】県自治研で「ふれあい収集」報告 「給与改定」理事者提案確認し妥結

松山市職労は11月13日、執行委員会を開催し12人が参加。活動経過で、①10月28日四国ブロック野球大会（高知県）で高知代表2チームと交流、②11月県自治研集会で松山市の「ふれあい収集全市実施」を報告し、他市町参加者から多くの質問が



【治】定期大会で循環型運動、職場づくり、 今仲間づくりの方針確認。抽選会もあり

今治市職は10月26日、定期大会を開催。運動方針では「職場の声を集め、要求・交渉し職場に返す循環型運動」「全体の奉仕者として住民のために仕事ができる職場環境づくり」「つながりを広げ深める交流や仲間づくり」などを提案。討論では安全衛生委員会・青年部・

あつたと報告。集会参加者から「中島町にもフェリーに乗って週1回2人1組で収集に行っていることに驚かれた」など感想もありました。協議事項では、人事課提案の「給与改定」を説明し、提案の受け入れと12月21日差額支給を確認。職場状況では「職場でインフルエンザが流行っていたがピークは越えた」など発言がありました。



《四国野球大会》 秋晴れの高知県四万十市で四国野球大会 4チームが対戦し、サヨナラの好ゲームも

10月28日、自治労連四国ブロック「軟式野球大会」を高知県四万十市で開催。愛媛の松山市職労・西予市職労、高知の南国市職労・大月町職労の4チームが対戦。暖かな秋晴れのもと、親睦と交流をはかりました。

松山	0	0	0	0	1	0	1
大月	1	1	1	1	0	4	8
南国	3	0	0	1	2	0	7
松山	0	0	0	0	0	0	0
西予	0	1	0	0	1	—	2
大月	0	7	1	4	x	—	12
西予	0	0	0	0	4	0	5
南国	2	0	1	0	1	0	6



【宇和島】新入組合員歓迎会で料理と会話で 盛り上がり。学習会参加も呼びかけ

宇和島市職は10月27日、新入組合員歓迎会を開催し16人が参加。河野委員長が「今日は日頃の忙しい時間を忘れましょう」とあいさつし乾杯で会食スタート。宇和島の美味しい魚料理とお酒で会話も弾み、新入組合員から

のあいさつでひと笑い起きるなど、終始盛り上がり。また、職場で抱えている問題を話したりと情報交換もして、「今後も定期的に交流会をしていきたい」という声もありました。会の中で11月28日の「休暇制度と人勤4月週及による差額支給について」の学習会への参加も呼びかけました。

【医療介護評】定期総会とあわせて学習会開催 「前歴加算」「公立病院財政措置」

県本部医療介護評は10月21日、第38回定期総会を開催し、6単組9職場11人が参加。総会前の全体学習は、森賀県本部委員長を講師に、①「初任給の前歴加算」、②総務省「公立病院に対する財政措置」について学習。労働組合としてさまざまな課題へ対応するため学

習を続け、知識や制度などを学び理解することが必要で、学習の継続も確認しました。続く総会では各職場の報告があり、運動方針では「地域医療守り、公立病院の充実めざす」「医療・介護労働者の労働条件の改善と働きがいある職場めざす」「初任給改善や前歴加算の確認」「各病院の財政の基礎的理解」などが確認されました。

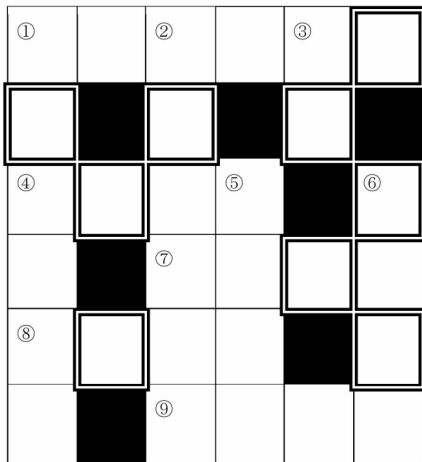


【ヨコのカギ】

- ①アドルフ・ヒトラーの著作
- ④さまざま、種々。♪人生〇〇〇〇
- ⑦1/10000の読みは「いち〇〇〇〇のいち」
- ⑧手でさわったときの感じ
- ⑨2008年9月アメリカ発の金融危機「〇〇〇〇ショック」

【タテのカギ】

- ①日本語を英語で理解する辞典
- ②右回りのことを…
- ③エジ〇〇、マラ〇〇、ロー〇〇
- ⑤（英語）寂しい。♪〇〇〇〇チャップリン
- ⑥大声で激しく泣くさま。〇〇〇〇と泣く



出題者 堀川孝行

マス目を埋め、二重枠の9文字で愛媛県出身の作家にして下さい。

■560号のパズルの答えは「ジユウネンヒトムカシ」（十年一昔）でした。正解は10通でした。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。（敬称略）

大石芽久美（新居浜）
中村 崇志（松山）
西原のり子（新居浜）
新城 美希（宇和島）
川井 遥（新居浜）

【応募方法】パズルの解答、氏名、住所、単組名を忘れずに。また、余白に紙面の感想、職場や家庭での出来事などをお書きください。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。

【送先】自治労連愛媛県本部バズル係 〒790-0003 松山市三番町8丁目10-2（FAX、メールも可）1面題字下に記載
【締切り】12月27日【発表】564号（1月号）

おたより ありがとう

■一気に寒くなりました。体調管理に気をつけてがんばろう！
（伊予・上本）

■昨年、愛媛FCの応援に、ニンジニアスタジアムに行っています。大きな声を出して応援するのは楽しいです。
（伊予・岡本）

■インフルエンザが猛威をふるって職場でもお休みの人が増えてきました。日本の名城100スタ

■「新居浜・岡嶋」
■今回のパズルの答えが家族中で考えてもなかなかわからず、何晩も頭を抱えていたところ、娘に見せたたん、1分でスラスラとなぎ合わせ、おまけに2文字の修正もしてくれ、驚きの連続！
（新居浜・西原）

■「新居浜・永易」
プ、これから何年かかかるかわかりませんが、コンプリートを目指したいと思います。